

【研究概要】

元々ベンゾジアゼピン受容体作動薬を服用していた患者が、COVID-19に罹患し当院に入院した。経過中に気管挿管・人工呼吸器管理となり、薬剤中止、人工呼吸器離脱後に昏迷、無言症、しかめ面を呈するようになり、緊張病と診断した。治療としてlorazepamを開始し、速やかに症状は改善した。ベンゾジアゼピン受容体作動薬の中止後に緊張病を発症したという報告だけでなく、COVID-19の経過中に緊張病を呈したという報告がある。COVID-19の治療経過中には緊張病を生じる可能性があり、注意が必要だと考えた。